

う思いで待機していましたが、「個人種目『窓ふき部門』、金メダル前田眞吾さん」と名前が呼ばれ、引き続き松田さんの『洗面台部門』、栞田さんの『小便器部門』と3人が金メダルを獲られ、無理だと思っていた団体種目でも「金メダル『バンブー』」と呼ばれ、まさかの4個の金メダルでわかたけチームは興奮状態。喜びと感動で我を忘れ大声で叫んでいました。

金メダルの表彰台に立っている姿、喜んでる姿を逃してはいけないと私は撮影に夢中でしたが、職員の藤井さんは泣いていたようです。

この感動は訓練生、そして職員にとっても今後の仕事の励みに非常になりました。一生懸命頑張ってくれた4人の訓練生に感謝、このようなすばらしい大会を企画して下さいましたエル・チャレンジさんにも感謝の思いでいっぱいです。他の訓練生、職員、スタッフの方とのふれあいもとても楽しかったです。ありがとうございました。

第2回エルチャレ甲子園に参加して

NPO法人わかたけ会 **バンブー**
栞田 **キヨ子**

第2回エルチャレ甲子園で、個人種目の小便器部門で金賞を、団体種目の室内清掃部門をチーム名バンブーで、前田眞吾さんと金賞(優勝)を頂きました。

昨年9月、第1回エルチャレ甲子園では、掃き掃除部門で銅賞を頂き、今年も引き続き賞を頂けて、とても嬉しいです。

皆が喜んでくれたし、「良くやった」と誉めてもらいました。

賞を頂いたのも、エル・チャレンジのスタッフの方々、わかたけ会のスタッフの方々のおかげだと思っています。ありがとうございました。宝物がまた1つ増えました。大事にしたいです。

また、賞が頂けるように頑張りたいと思います。

賞を頂いた喜びを胸に、早く就職して、皆様に恩を返していけたらいいなと考えております。

これからもよろしくお願ひします。



第25回 全国グループホーム・ケアホーム等 研修会に参加して

大阪市育成会地域生活支援センター
生活支援員 **平井 久美**

7月11日(土)・12日(日)に日本知的障害者福祉協会主催の第25回全国グループホーム(GH)・ケアホーム(CH)等研修会が開催されました。

1日目の行政説明では、「GH・CHの現状と今後の方向性」ということで、サービス等利用計画書・個別支援計画の作成について、平成24年4月より開始している地域相談支援(地域移行支援・地域定着支援)の概要、施設入所者及び入院患者の地域移行に係る支援の仕組み等の話がありました。また、終盤にはGH・CHの現状と主な課題について言及されていました。計画の作成については、まず本人の“こんな生活をしたい”という思いがあり、それを実現するためにはどのような支援が必要で、どのような手伝いができるのかを見極めていかなければならず、さらに必要な点については具体的に掘り下げて計画を作成するように努めなければならないと感じました。

現在、GH・CHの利用者数は自立支援法施行前に比べ約3.5万人増えているそうです。今後も利用者数が増加することが見込まれており、整備が必要ですが、一定のエリアに複数住居の設置が困難であり、用地を確保することが難しい等という課題があります。また、用地を確保できたとしても、建築基準法や消防法の基準適合が難しかったり、地域住民の反対により設置を断念するケースが多いようです。

さらに障がい者の高齢化や重度化に伴い、地域生活を送るうえで居宅サービスの活用や医療ニーズに対応する必要性、日中をホームで過ごされる方や夜間支援が必要な方が増加することも考えられ、いかに地域資源を活用するか、日中や夜間の人員配置をどうするかについても多くの課題があることが分かりました。

鼎談(ていだん)では『誰しもが笑って暮らせる街にしよう!!～地域のまなざしの中で～』というテーマで、離島医療に取り組む次田医師、北海道の社会福祉法人NIKORIの山崎千恵美氏、大阪府立大学の三田優子氏の3名の発表がありました。

最も印象的だったのは、GHなどを利用して地域で必死に暮らしている人々の中に、“この暮らしいいな”と思って過ごしている人は一体どれくらいいるのか、という質問でした。今住んでいる街の中でどうやって生きていくのかを考えた時、“前より(入所施設にいた時より)は良くなった”というレベルではなく、“実